

以下の**燃焼機器**を 探しています！



以下のリコール製品を見つけた場合は、すぐに

- **製品の使用を中止してください。**
- **メーカー各社へご連絡してください。**

事業者・品名	対象品番 (製造年)	リコール理由 及び開始年月日	ご連絡先
<p>株式会社旭製作所 (岩谷産業株式会社 ブランド) トーチバーナー</p> 	<p>【イワタニ】 お料理バーナー プロⅢ CB-TC-CPRO3(2013年 ～2014年)</p> <p>製造ロットNo.が131111、 131211、140221、140702の 製品</p>	<p>火災事故が発生。 ポンベ接続部の取り付けビスの 締め付け不足により、接続部に すき間ができ、ガス漏れが発生 する個体が良品に一部混入して 市場に流通し、人的被害や火災 に至る可能性があることが判明。 リコール開始: 2014年12月11日</p>	<p>イワタニお料理バーナー相 談室 フリーダイヤル: 0120-60-1598 関連URL: http://www.iwatani.co.jp/jpn/top_info/detail.php?idx=28</p>
<p>株式会社コロナ 温水ボイラー内蔵 輻射型密閉式 石油ストーブ</p> 	<p>UHB-TP1010(2009年～ 2010年) UHB-TPM1010(2009年 ～2010年) UHB-TP1020(2010年～ 2014年) UHB-TPM1020(2010年 ～2014年)</p>	<p>火災事故が発生。 ボイラー側燃焼部の燃焼リング の溶接強度不足で、耐久性の 劣るものが一部組み付けられ、 ボイラー側の負荷の状態によっ ては短い年数で燃焼不良を発 生し、停止したり、すずによる外 壁の汚損や排気管の過熱に至 るケースのあることが判明。 リコール開始: 2015年7月10日</p>	<p>株式会社コロナ 石油ストー ブお客様窓口 フリーダイヤル: 0120-003-683 関連URL: https://www.corona.co.jp/report/index.html</p>
<p>株式会社世田谷製作所 ガスふろがまバーナー (世田谷製作所、オカキ ン、東京ガス、ハーマン ブランド)</p> 	<p>【世田谷製作所】 R38B(1998年～2006年) R137B(1997年～2006年) CS31B(1998年) CS32B(1998年～2006年) CS33B(2001年) FE15(2000年～2006年) TA-097UET(1997年～2006年) TA-270UET(1997年～2006年) TA-OK270UET(1997年～2006年) GS-1(2000年～2005年) ※ その他、オカキン、東京ガス、 ハーマンブランドの製品も対象(関 連URL参照)</p>	<p>火災事故が発生。 製品内の部品の設計の不具合 により、ガバナ部(整圧器)のダ イヤフラムに亀裂が生じ、機器 内部でガス漏れが発生するおそ れが判明。 リコール開始: 2007年4月19日 再周知: 2013年3月7日</p>	<p>株式会社世田谷製作所 電話番号: 0120-634-126 関連URL: http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/</p>

裏面にもリコール製品の記載がございます。

11月は製品安全総点検月間です。

製品にも寿命があり、古くなったら**点検**や**買替え**が必要
です。異常を感じたら、まずはメーカーや販売店に相談し
ましょう。

事業者・品名	対象品番 (製造年)	リコール理由 及び開始年月日	ご連絡先
株式会社千石 石油ストーブ (グリーンウッド、アラジンブランド) 	【グリーンウッド】 GKP-S241N GKP-M2401N GKP-W301N 【アラジン】 AKP-U28A AKP-S280 AKP-S300 (2009年)	火災事故が発生。 当該製品用のカートリッジタンクの蓋(口金キャップ)が本体に確実にロックされない状態で、蓋が閉まったと誤認し、カートリッジタンクを出し入れする際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火することが判明。 リコール開始: 2010年9月1日	株式会社千石、株式会社グリーンウッド及び日本エー・アイ・シー株式会社 フリーダイヤル: 0120-15-1059 関連URL: http://www.gwgw.co.jp/pdf/notice/20010326.pdf (グリーンウッド) http://www.aladdin-aic.com/mt_download_data/important_information.pdf (日本エー・アイ・シー)
株式会社長府製作所 石油ふろがま 	石油ふろがま(1984年~2001年) 追焚付石油給湯器(1983年~1991年) ※ 対象機種は関連URLをご参照ください。	火災事故が発生。 過去に行った点検・修理の際の作業が不十分であった場合には、万一誤って浴槽に水がない状態で運転すると、空焚き防止装置が作動せず、空焚きによる本体焼損に至るおそれが判明。 リコール開始: 2007年7月27日	株式会社長府製作所 フリーダイヤル: 0120-911-870 関連URL: http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html
株式会社ハーマン (ハーマン、ノーリツ、大阪ガス、東京ガスブランド) 浴室暖房乾燥機 	【ハーマン】 FD2809J2 FD2809J3 FD2809J3W 【ノーリツ】 RCA-326M 【大阪ガス】 161-5501 【東京ガス】 BBD-3301ACSK-J3 BBD-3302ACSK-J2 (2001年~2006年) ※ ハーマン分は機器型式とリモコン品名は同一。ノーリツ、大阪ガス、東京ガス分はリモコン品名を記載。	火災事故が発生。 当該製品のリモコンに特定のエラー(エラー番号「68」)が表示され、当該機器が停止した後、エラーを解除するリモコン操作を繰り返すことにより、発火に至る可能性があることが判明。 リコール開始: 2014年5月29日	株式会社ハーマン及び株式会社ノーリツ販売分 フリーダイヤル: 0120-132-587 大阪ガス株式会社販売分 フリーダイヤル: 0120-00-7573 東京ガス株式会社販売分 フリーダイヤル: 0120-520-585 関連URL: http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2014/05/post-22.html (ハーマン) http://www.noritsu.co.jp/info/31.html (ノーリツ) http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2014/1210937_10899.html (大阪ガス) http://www.tokyo-gas.co.jp/important/20140529-03.html (東京ガス)

一酸化炭素中毒のおそれがありますので、すぐに使用を中止してください!

松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)のFF式石油温風機及び石油フラットラジアントヒーター(1985年~1992年製造)、パロマ工業株式会社(現株式会社パロマ)の屋内設置型ガス湯沸器(1980年~1989年製造)により、**一酸化炭素中毒による死亡事故**が発生しています。すぐに使用を中止し、以下のご連絡先に相談しましょう。

■パナソニック株式会社 フリーダイヤル: **0120-872-773**

関連URL: <https://sec.panasonic.co.jp/ap/info/ssl/heating/index.htm>

■株式会社パロマ フリーダイヤル: **0120-314-552**

関連URL: http://www.paloma.co.jp/important/info_repair/info_important/index.html



製品事故の情報、リコール製品の情報をチェックするには!

■経済産業省 製品安全ガイド

製品安全ガイド



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

http://www.meti.go.jp/product_safety/



■消費者庁 リコール情報サイト

消費者庁 リコール



消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

<http://www.recall.go.jp/>

